令和3年12月1日発行
社会福祉法人
能美市社会福祉協議会広報誌

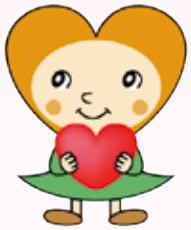
視覚に障がいのある方等で、広報誌の音訳テープを聞いてみたいと思われる方は、社会福祉協議会までお知らせ下さい。

社会福祉のみ ほほえみ

第66号

「赤い羽根共同募金運動」 10月1日 ～ 12月31日
「地域歳末たすけあい運動」 12月1日 ～ 12月31日

共同募金にご協力をお願い致します



お寄せいただいた募金は、能美市社会福祉協議会を通じて、地域福祉の充実のために使われます！

目次

P.2 能美市社会福祉大会
P.3 石川県社会福祉大会／〝能美たすかったわ～大賞〟作品募集／第4次地域福祉活動計画
P.4 ヒント探し講座【入門編】・【実践編】／フードドライブ報告・予告
P.5 地域福祉委員会特集／いしかわ男女共同参画推進宣言企業「女性活躍加速化クラス」認定書交付式／老人福祉センターのお知らせ／会員会費加入状況
P.6 相談日のお知らせ／これからの予定／寄付御礼
P.7～8 能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センターだより

【赤い羽根共同募金運動】が、10月1日から全国一斉に始まっています。「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」がテーマです。集まった募金は、地域の福祉活動や豪雨災害などの被災者支援活動に使われます。また、12月1日から31日までの期間、【地域歳末たすけあい運動】が展開されます。

お寄せ頂いた募金は、能美市社会福祉協議会を通じて、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、地域の身近な福祉に役立てられます。

この広報誌には、発行費の一部に「共同募金」が充てられています。
社会福祉協議会の事業に対するご意見やご要望をお気軽にお寄せ下さい。

第17回 能美市社会福祉大会を開催

昨年来より続くコロナ禍の中、本年の大会も感染症拡大防止の対策をとりながら、10月15日（金）、辰口福祉会館において、永年にわたり社会福祉活動に尽力された22名と3団体の皆様が社会福祉功労者等表彰を受けられました。

心よりお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍をご祈念いたします。

受賞された皆様

謝辞を述べる森 義久氏

社会福祉功労者表彰（敬称略）

民生委員・児童委員

生田　絹代（寺井地区）
森　義久（寺井地区）
中西　辰雄（辰口地区）
冨田　靜香（寺井地区）

社会福祉活動者・団体

佐々木るり子（東任田町福祉推進員）

のみ♡子育てネットワーク（代表：清水 奈津美　会員数：25名）

子ども達がのびのびと健やかに育つよう、サロンの運営や野外活動など様々な活動に積極的に取り組んでいる。

社会福祉団体役・職員

北山　幸正（能美市身体障害者福祉協議会）
善田　孝司（能美市身体障害者福祉協議会）
谷口　武夫（能美市老人クラブ連合会）
南　忠治（能美市老人クラブ連合会）
相河　敏子（能美市遺族会）
千田　法子（能美市遺族会）
杉田　洋子（能美市遺族会）

社会福祉施設役・職員

宮本紗起子（喜峰会）
木田　美紀（喜峰会）
中村　美穂（喜峰会）
北田　純子（喜峰会）
小酒千亜紀（泰耀）
石井　敏恵（あんすりー）
多賀千加子（あんすりー）
小中　真里（能美市立保育園）
國澤さやか（能美市立保育園）
石川　友貴（能美市社会福祉協議会）

奨　励　賞

秋常町 いきいきサロン

いきいきサロン佐野町倶楽部

過去5年間において、いきいきサロンを年間平均12回以上開催し、地域ぐるみで高齢者等の閉じこもり予防や見守り活動を実施

第70回 石川県社会福祉大会 開催

11月2日㈫、石川県地場産業振興センターにおいて、これまで、多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった549名59団体に対し、社会福祉功労者等知事表彰、並びに石川県社会福祉協議会会長表彰が贈呈されました。能美市内の関係者、団体の受彰者は次の方々です。おめでとうございます。

石川県知事表彰（敬称略）

ボランティア活動者・活動団体（3団体）

能美マジック教室
（代表者／南野 康男　会員数／18名）
平成23年3月にマジック好きのメンバーが集まり設立。マジックの他に、バルーンアートなども活動の幅を広げ、市内保育園やいきいきサロンなどに出向き活動している。

まだまだ元気な高齢者サポートグループ「ほがらか会」
（代表者／栗山 よしみ　会員数／27名）
平成19年5月設立。住み慣れた地域でその人らしく暮らすことを目的に、各地区において閉じこもり予防ミニデイサービスを行っている。

KONOHA winds
（代表者／河合 裕利子　会員数／10名）
平成22年10月に吹奏楽部OBが集まり設立。地域の方々に音楽を楽しんでもらうことを目的に、いきいきサロンやイベントなどに出向き音楽を通した交流の機会を広めている。

社会福祉事業関係団体役員等（2名）

荒田 正信（手をつなぐ育成会）
樫村 優紀世（能美市社会福祉協議会）

石川県社会福祉協議会会長表彰（敬称略）

ボランティア活動者・活動団体（2団体）

辰口中央小学校見守り隊
（代表者／成田 吉雄　会員数／65名）
平成15年4月に設立。学校と連携し、児童の登下校にあわせて、交通安全と不審者から子供たちを守る活動を行っている。

てらい愛唱会
（代表者／河村 良平　会員数／12名）
平成24年4月に歌謡を楽しむ仲間が集い設立。市内外の高齢者施設などの訪問やイベントに協力し、歌謡を通してふれあい交流を行っている。

社会福祉事業従事者（15名）

竹田 直美（能美市作業所連合一歩）
岸本 貴之　辻 由和　石塚 与志生
渡邉 大介（以上 佛子園）
髙田 幸枝　地中 真由子　酒井 裕美
泉 奈穂子　上田 正美　江田 光暁
丸田 亜矢（以上 喜峰会）
中山 玲子（能美市遺族会）
坂井 美千代　寺西 智江（以上 能美市社会福祉協議会）

令和3年度春まちぽかぽかプロジェクト協賛事業

〝能美たすかったわ～大賞〟～あんたのおかげで♡♥～

〝あんたのおかげでたすかった～、うれし～かった話〟を大募集！

〝コロナ禍の今〟だからこそ見えた新たな助け合いや繋がり、住民同士が互いの存在を大切に思い、地域の中で助けたり、助けられたりする「お互いさま」の行動に触れて嬉しかったこと、感謝の気持ちを描いた100文字作文を募集します。

◆募集期間　2月10日(木)まで(必着)

※応募の詳細については本会ホームページ、1月全戸配布チラシにて確認をお願いします。

第4次能美市地域福祉活動計画（令和4年度～令和8年度）の策定の取り組みが始まりました!!

第4次の能美市地域福祉活動計画（以下「活動計画」）は、能美市が策定する第4次能美市地域福祉計画（以下「市計画」）と合せ、社会福祉協議会が中心となり、令和4年3月末までに次の組織で策定する予定です。

進め方

① 第3次活動計画を推進する3委員会（第4次活動計画「策定ワーキング部会」）
- 第3次活動計画での活動のまとめから、第4次活動計画につなぐ課題の整理（令和3年9月末に実施済）
- 社会情勢などを把握し計画素案の検討・作成
（実施時期：6月～月1回実施）

② 第4次能美市地域福祉活動計画「策定幹事会」（こころ豊かな地域づくりの会）
- ①で出た課題や計画の素案について検討
- 市計画等、他の計画施策との整合性調整
（実施時期：令和3年7月・10月実施、1月・3月頃予定）

③ 第4次能美市地域福祉活動計画「策定検討会」「策定委員会」
- ①②で作成した素案・計画案の検討及び策定、承認
- 社会情勢などを把握し計画素案の検討
（実施時期：令和3年10月実施、2月・3月頃予定）

⇩

公表

10月15日（金）辰口福祉会館にて

令和3年度 地域福祉委員会活動
ヒント探し講座【入門編】・【実践編】

◆入門編（11月26日閉講・全4回）

9月15日に開講した地域福祉委員会活動の基本的な考え方を学ぶ【入門編】は、11月26日をもって、全4回講座を修了しました。受講者は、地域で活動される福祉推進員及び町（内）会より推薦いただいた方々で16町（内）会より、23名が受講されました。

第1回は、金城大学　社会福祉学部　内慶瑞教授より、『withコロナ&天災だからこそ～新たな「互近助」づくりへ～』と題し、講義では、コロナ禍の状況下だからこそ地域との〝つながり〟や〝助け合い〟の町づくりが大切であることを学びました。第2回は、地域で支援を必要としている方々の現状や関わり方を学ぶ講義として、高齢者、障がい者、子育て、外国人支援等各分野の支援者より、地域課題に対する気づきの視点や、専門職との連携の必要性について学びを深めました。

第3回は、受講者の各町（内）会で地域福祉委員会を開催し、地域の課題について話し合った内容を、第4回の講義にて共有し、情報交換を行う等、解決に向けてのヒントを学びました。

本講座の修了者は、「地域福祉委員会活動推進員」として登録され、今後は、地域福祉委員会活動に継続的に関わることが期待されています。

『地域福祉委員会活動連絡会』（9月15日・30日）

※今年度は講座の第1回及び第2回を『令和3年度地域福祉委員会活動連絡会』を兼ね、公開講座として開催しました。連絡会には、町（内）会長、民生委員・児童委員等、約30名（内オンライン10名）が参加されました。

◆実践編（開講中・全3回）

地域福祉委員会活動ヒント探し講座【実践編】は、【入門編】を修了した地域福祉委員が次へのステップとして、全3回で学ぶ講座です。

今年度は、湯屋町と緑が丘1・5・9地区福祉委員会が受講し、地域課題を見つけ解決に向けて支え合いの取り組みを考える手法である「住民流支え合いマップ」（住民流福祉総合研究所　木原孝久所長考案）を学び、課題に気づき、解決に向けて考えることの重要性を理解しました。

第3回講座（12月7日（火））では、受講地域（地区）福祉委員会が課題の解決に向けた取り組みを報告し合い、学びを深めていく予定です。

“住民同士の助け合い活動”
フードドライブ にご協力お願いします！

第3弾（通算7回）

“フードドライブ”とは、ご家庭で眠っている食品を持ち寄り、必要としている方々に寄付する活動です。

【食品の受付】
［日時］ 12月11日（土）、12日（日）2日間とも　10:00～12:00
［会場］ 寺井地区公民館（寺井町ヨ47）

【ご寄付いただきたい食品（限定）】

★賞味・消費期限が1か月以上残っている未開封の常温保存食品
- 米（白米、玄米）
- 菓子
- 缶詰
- 調味料
- インスタント食品
- レトルト食品
- フリーズドライ食品
- 乾麺（そうめん、うどん、そば、パスタ）
- 飲料（ジュース、コーヒー、紅茶）

【必要としている方がいます！】
- 生理用品

★同会場では、「歳末助け合い入札展」も開催されています。
お気に入りを見つけて、お気軽にご参加ください！

『歳末助け合い入札展』での益金は、能美市共同募金委員会に寄付されますが、能美市社会福祉協議会がその配分を受け、歳末の時季に支援を必要としている方々へのお見舞金やその他の地域福祉活動に役立てています。

第2弾（通算6回）

10/2・3・30・31

フードドライブの報告
たくさんの食糧等をご寄付いただき、ありがとうございました！

今回、能美市と社会福祉協議会が協働で、能美市内4か所にてフードドライブを行いました。

10/2（土）・3（日）は、「ふれあいプラザ」で、10/30（土）・31（日）は、『10月の食品ロス推進月間』にちなみ、各地区のリサイクルセンターの「根上くるくる工房」「ふれあいリサイクルセンター」「辰口リサイクルセンター」で食品の受付を行いました。

4会場であわせて、134件、506kgの食品等のご寄付をいただきました。

ご協力ありがとうございました。

ご寄付いただいた食品は、支援を必要としている方や子ども食堂等にお配りします。

地域福祉委員会 特集！

下ノ江町地域福祉委員会

下ノ江町（しものごうまち）には、根上総合文化会館方面から小松方面へ向かう県道が通っており、県道の北西側には古くからの集落（地元では本町と呼んでいます）、反対の南東側には四〇年余り前に造成された新興住宅地（サンタウン）があります。「旬です！ねあがり」と書かれた昭和初期に使われていた水道塔を活かしたモニュメントが目立つ町です。五〇二世帯に一三三一名が暮らしています（令和二年十二月一日現在）。

もともと、この二つの地域には別々に地域福祉委員会がありますが、家族の少人数化（家族で支え合う力の低下）や高齢者世帯の増加という傾向は二つの地域に共通しています。そうした中、車が無くて遠くの美化センターまで不要になった粗大ごみを運べない世帯や、通院や行政手続きや買い物などの日常のちょっとした外出に困難をきたす人が増えました。また、市の健康診断結果から見る下ノ江町住民の健康状態が、すべての指標で市の平均よりも悪いという結果も出ています。そこで、昨年より、本町とサンタウン合同の地域福祉委員会が開かれるようになりました。

地域福祉委員会では、現状についてのデータや事例を文書で配布して情報共有し、これに基く意見交換を行いました。その結果、これらの困り事は決して一人の特殊な事例ではなく複数のこうした事例があることで、もはや個人的な課題ではなく地域全体の課題になっているということが見えてきました。

そして、地域福祉委員会メンバーの間で危機感や結束が固まっていきました。「このまま見過ごせない。見えてきた課題に対して解決のためのアクションを起こさないと人が住めない地域になる。今ならまだ間に合う」とメンバー全員が思いました。そこで昨年末、地域福祉委員会を母体とした新たな実働部隊として「下ノ江ささえあい隊」というボランティアグループを結成しました。今年は地域福祉委員会の顔ぶれが昨年とは一部入れ替わっていますが、下ノ江ささえあい隊メンバーが核となって一体的に運営し、必要と思われる人への支援を行っています。

この一年で、「自宅の片付け」支援は三一回行い美化センターには五八往復しました。外出支援の送迎は一三名が七九回利用しました。健康づくりのための「下ノ江緑の健康広場」への送迎は一三往復です。対象者は下ノ江町の住民のみですが、町外にもこうしたニーズはあるのではないでしょうか。

民生委員や町内会長などの役割を担う人が自分一人で課題の解決に取り組もうとしても無理があるし、課題の大きさや困難さを前にして諦めざるを得ないケースもあるかも知れません。そうした負担感を軽くしてくれるのが地域福祉委員会だと思うのです。そして、「困った人がいたら力になりたい」「声を掛けてくれたら自分も手伝いたい」と思っている人が、実は地域には大勢いて、そうした人の力を借りる仕組みさえできればあとは皆の協力で、和気あいあいとした雰囲気を持ちながら課題に対処して行けるということを実感しています。

（民生委員・児童委員　毎田　雄一）

健康づくりと交流のための緑の健康広場

老人福祉センター『白寿会館』『亀齢荘』よりご案内

12月22日（水）は、**“ゆず湯”**です。お楽しみに♥

【年末年始のお休み】
12月30日（木）～ 1月3日（月）

【定休日】
白寿会館 … 毎週 火・土曜日
亀齢荘 … 毎月 第1・3・5日曜日

心も身体も温まりましょう!!お楽しみに♥

令和3年度 会員会費加入状況（11月15日現在）

正会員	個人会員	695名	695,000円
	組織・団体・法人会員	60社	300,000円
賛助会員	個人会員	3,089社	1,554,150円
	団体・企業	155社	552,000円
		合計	3,101,150円

※引き続き、12月末日まで会員募集をしています。ご協力よろしくお願い致します。

いしかわ男女共同参画推進宣言企業「女性活躍加速化クラス」に認定されました

能美市社会福祉協議会では、これからも男女がともに生き生きと働くことができる職場環境づくりに向けて積極的に取り組んでいきます。

令和3年10月5日（火）認定書交付式（石川県庁）

相談日のお知らせ

（令和3年12月～令和4年2月分）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止や電話での相談となる場合がありますので本会ホームページをご確認願います。

【予約・問合わせ】　くらしサポートセンターのみ（☎58−6603）

★対象:能美市在住の方
★気軽にお問合せください
（秘密は厳守します）

● 弁護士無料法律相談　要予約　13時30分～15時30分

※相談時間は一人およそ30分、1日4組迄です。

開催日	
12月	10日(金)　20日(月)　23日(木)
1月	7日(金)　18日(火)　28日(金)
2月	9日(水)　21日(月)　24日(木)

開催場所：ふれあいプラザ

● 行政書士無料相談　要予約　13時30分～15時30分

※相談時間は一人およそ30分、1日4組迄です。

開催日	
12月	16日(木)
1月	20日(木)
2月	17日(木)

開催場所：ふれあいプラザ

● 心配ごと相談　申し込み不要　13時30分～15時30分（最終受付：15：00）

民生委員・児童委員や人権擁護委員、行政相談委員が相談員として、住民の日常生活上の相談に応じ、適切な助言等を行います。　※相談時間は、一人およそ30分です。

地区	開催日	開催場所
根上地区	毎月25日（12月は、24日(金)）	根上サービスセンター
寺井地区	毎月　5日（12月は6日(月)、2月は4日(金)）	ふれあいプラザ
辰口地区	毎月15日	辰口福祉会館

● 生活困窮に関する相談　随時　※要 事前電話連絡

就労支援や家計相談、生活に必要な資金の貸付を行います。

● 権利擁護に関する相談　随時　※要 事前電話連絡

認知症や障がいのある方に対して、日常的な金銭管理や成年後見制度の相談・支援を行います。

【問合わせ】　能美市社会福祉協議会（☎58−6200）

● 親子サロン（ママ友相談）

参加申し込み不要　当面の間 9時30分～12時00分

妊娠中の方や未就園の子どもとその親・祖父母などが気楽に集い、ふれあいや交流を深めたり、気軽に子育ての相談をしあえるサロンです。参加申し込みは不要です。サロンでは、先輩ママがスタッフとなりママ友相談もしています。

地区	開催日	開催場所
根上地区	水曜日	西二口町公民館(コミュニティセンター)
寺井地区	木曜日	粟生町コミュニティセンター
辰口地区	火曜日	岩内コミュニティセンター

※祝日および第5週目は、お休みになります。

● ほっとあんしんサロン

参加申し込み不要　13時30分～15時30分

高齢期を迎えての健康や暮らし方の不安、介護をしていての心の悩みなど、日頃の思いを気軽に語り合いませんか。「能美市介護を考える会」会員がスタッフとしてお待ちしています。どなたでも気軽にご参加ください。

開催日	開催場所
毎月第2水曜日 （12月8日(水)、1月12日(水) 2月は、春まちぽかぽかプロジェクトに合わせて開催予定）	ふれあいプラザ

これからの予定　令和3年12月～令和4年2月

12月1日(水)~31日(金)	共同募金　地域歳末たすけあい運動 （能美市共同募金委員会）
12月10日(金) ～ 12月12日(日)	歳末助け合い入札展（寺井地区公民館） この入札展の収益は「地域歳末たすけあい募金」として、能美市共同募金委員会に寄付されます。皆様、お誘いあわせの上、一人でも多くの方のご来場をお待ちしています。
12月11日(土)・12日(日)	フードドライブ　第3弾（ふれあいプラザ）
12月13日(月)・15日(水) 16日(木)	歳末お見舞金贈呈訪問出発式（各地区ごと） （地域歳末たすけあい募金が財源です）
12月19日(日)	フードパントリー&個別相談会（ふれあいプラザ）
2月19日(土)~27日(日)	春まちぽかぽかプロジェクト（市内各地）

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止・延期となる場合もあります。

寄付御礼

令和3年8月19日～11月15日
ありがとうございました

・大谷 征治、章子（金沢市）
・本多 喜久野（小長野町）介護用品
・倉部 静榮（佐野町）手作りマスク
・匿名1件　家電　（敬称略）

～ 地域福祉の担い手として活動 ～

交代に伴い福祉推進員に委嘱状を交付しました。

【寺井町山道】井出 秀二　（敬称略）

※福祉推進員は、地域福祉委員会や民生委員・児童委員と連携し、地域のいきいきサロン活動の支援や、支え合い活動への取組みが期待されています。
（任期:残任期間として、令和3年9月1日～令和4年3月31日まで）

3 報告 能美市ジュニアボランティアクラブ活動中!!

第1回　10月30日(土) 10:00～11:30　(ふれあいプラザ)

「ボランティアってなぁに?一緒に考えてみよう」

市内の小学生17名とその保護者16名、計33名が参加し、市ボランティア連絡協議会会長 中田紀子氏より「ボランティア活動は相手の立場になって考えること、長く続けられるように無理のない計画を立てることが大切」とのお話と、絵本の読み聞かせをして頂き、参加者全員で12月までの体験の心がまえを学びました。

また、ボニュール根上苑 デイサービスセンターリーダー 谷道晶子氏、星が岡牧場施設長 岸本貴之氏より、それぞれの施設の目的や取り組み、大切にしていることを話してもらい、地域の中にいろいろな施設があることを学びました。

さらに、市身体障害者福祉協議会会員 久木直子氏からは、障がいがある方の日々の生活やパラスポーツの魅力について話してもらいました。

地域のいろいろな人を支える取り組みについて話される
星が岡牧場　施設長　岸本貴之氏

第2回　11月6日(土) 10:00～11:30　(ふれあいプラザ)

「ユニバーサルデザイン・バリアフリーってなぁに?」

陽翠水 常務理事兼事務長 越村和広氏、主任理学療法士 橋本雄二氏より、ユニバーサルデザイン・バリアフリーについて分かりやすく説明してもらい、高齢者疑似体験やクイズラリーをして高齢者や障がいのある方の生活について理解を深めました。

体験を通して
「ユニバーサルデザイン・バリアフリー」について
学びを深める

第3回　11月27日(土) 9:30～11:45　(サンサポートさらだ)

「障がいのある方たちと交流してみよう」

障がいのある方と一緒にパラスポーツ競技である「ボッチャ」を体験しよう!

第4回　12月4日(土) 10:00～12:00　(ふれあいプラザ)

3地区のスーパー前での歳末たすけあい募金とボランティア体験の振り返り

・歳末たすけあい募金活動を通して地域でのたすけあいを知ろう!

※第3回・第4回の取り組みは、次回で詳しく紹介します。

≪企業・団体の地域貢献・ボランティア活動紹介コーナー≫　連載No.30　寺井町生産組合

寺井町生産組合では、世代間交流の機会として、毎年、寺井保育園児や和老会(寺井町シニアクラブ)と、さつま芋の植え付けと収穫体験を行っています。10アールの畑に約1,300本の苗を植え、組合員も世間話をしながら無理せず準備と管理を行い、楽しく親睦を図っています。

当日は、生産組合と和老会のメンバーが園児の手伝いをする形で、活発な園児達と触れ合って元気を貰っています。無邪気な様子に微笑ましく手を止めて見入ったりします。収穫したさつま芋は園児分を保育園に届け、町の文化祭でも販売したりします。また、能美市社会福祉協議会で、フードドライブを通して困っている人に食品を渡していることを知り、お役に立てればと思い、寄付をさせてもらっています。

小・中学生になっても体験を覚えていて挨拶してくれる子もいて、やりがいがあります。今後も活動を続けていきたいと思います。

プルタブ収集のご報告

いつもたくさんの団体や個人の皆さんからご協力いただき誠にありがとうございます。
プルタブの収集にご協力くださった方々を一部紹介します。(令和3年8月19日 ～ 令和3年11月15日の期間)

デイサービス「灯」2.7kg、　大釜屋保育園 3.9kg、　匿名 1kg (敬称略・順不同)

プルタブ以外にも、ベルマーク、古切手、使用済みインクカートリッジ等も集めています。ご協力お願いします。
(※エコキャップについては、株式会社 日本海開発へ直接お持ち込みください)

持ち込み場所　能美市社会福祉協議会(ふれあいプラザ)、白寿会館、亀齢荘、G-Hills(ジーヒルズ)に収集ボックスを設置しています。

地域で暮らす一員として、だれもがボランティア活動を行いたいものです。できることをできるだけ!

能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センター

「ボランティアセンター」だより

最新ボランティア登録数 (R3.11.15 現在)
3,514人(個人も含め)
90グループ

こちら側からの2ページは、ボランティアに関する活動報告や、“知って得する、役立つ”情報を掲載しています。皆様からのご質問にもお答えしますので、どんどんホットな情報やお声をお寄せください。

1 報告 高校生ボランティアチャレンジ体験

「高校生ボランティアチャレンジ」は、高校生がボランティア活動を体験することで、助け合いの気持ちや、つながり、共生の大切さを認識し、現在及び将来において、誰もが共に暮らすという地域社会の一員として、地域福祉の理解を深め、関心を持ち続ける視点を養うことを目的とします。

石川県立寺井高等学校の生徒会とJRC部が企画!!

コロナ禍でもできることとして「笑いヨガ」を学び、「笑いヨガ」を用いた軽体操の様子を撮影し、DVDを作りました。このDVDをこれから、地域のいきいきサロン等で役立ててもらいたいと考えています。

①10月1日(金)
内容：講師に「笑いヨガマスタートレーナー」沼田淑美先生を招いて、「笑いヨガ」を学び体験しました。

②10月8日(金)
内容：笑いヨガを用いた軽体操の練習

③10月29日(金)
内容：軽体操のDVD撮影

DVD撮影に臨む寺井高等学校の生徒の皆さん

※作成したDVDは地域のいきいきサロン等で活用できるように準備を進めていく予定です。

2 情報 歳末に「お互い様の気持ち」をお届けします! フードパントリー&個別相談会のご案内

経済的に困っている方々へ、フードドライブ等へお寄せいただいたお米や缶詰、レトルト、お菓子などを、無償でお配りする「フードパントリー」を実施します。同会場で“現在の生活に不安!”“食べるものがない!”などの相談も受付けます。

★日　　時：12月19日(日)　10時～正午
★会　　場：ふれあいプラザ
★対　　象：能美市内在住で生活にお困りの方 30世帯
★申込方法：電話にてお申込みください。(☎58-6200)

★事前申込期間：12月6日(月)～12月17日(金)
10時～17時まで。※土日は、お休みです。

事前申し込みが必要だよ♥

*詳しくは、本会ホームページにてご確認ください。

社会福祉法人 能美市社会福祉協議会
nomi@nomi-shakyo.jp
ホームページ http://www.nomi-shakyo.jp

〒923－1121　石川県能美市寺井町た8番地1　能美市ふれあいプラザ　2階

- 法人事務局 (☎ 0761－58－6200　FAX 0761－58－6250)
- ボランティア・コミュニティ活動支援センター ☎ 0761－58－6200　FAX 0761－58－6250 ホームページ http://www.nomi-shakyo.jp/vc
- くらしサポートセンターのみ (☎ 0761－58－6603　FAX 0761－58－6733)
- 能美市社会福祉協議会 能美居宅介護支援事業所 (☎ 0761－58－6005　FAX 0761－58－6733)
- 寺井あんしん相談センター (☎ 0761－58－6117　FAX 0761－58－6733)
- 能美市老人福祉センター 白寿会館 (☎ 0761－55－3149　FAX 0761－55－3149)
- 能美市寺井老人福祉センター 亀齢荘 (☎ 0761－57－2323　FAX 0761－57－4585)

⚠ 社会福祉協議会を語る不審電話にご注意ください。万が一、不審な電話に遭遇した時は、本会までご一報いただけると幸いです。